

令和4年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 安全安心推進課	課長	加藤 宏之
----	---------------	----	-------

課の運営方針
<p>○業務遂行にあたっての基本的なスタンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民要望を常に考え、可能な限りこたえられるように努力する。 ・重点事業 窓口・電話接遇全般 ・目 標 市民の方には、迅速な対応を心がけ、市民目線の親切な対応をする。 <p>○課員に求める必要な心構え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当する職務の垣根を越え、協力しながら全体で事業等にあたる。 ・常に問題意識を持ち、業務改善を心がける。 ・現場を確認し迅速な対応を心がける。 ・課内、係内の意思疎通を密にし、誰もが同じレベルの処理・対応を行う。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪発生を抑止のためキャンペーンの実施 ・駐輪、防犯指導のため、自転車盗難等防止対策事業を継続 ・通話録音機能付電話機購入に対する補助(振り込め詐欺被害防止) ・犯罪被害者等支援体制の充実 ・放置自転車対策に向けて、民営自転車等駐車場整備事業補助金を活用して、駐車場の整備促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪発生件数(自転車盗)の減少 ・犯罪被害者等支援条例の制定 ・蕨駅西口周辺への民営自転車駐車場の整備 	△	犯罪発生件数(自転車盗含む)は前年増となったが、長期的にみると着実に減少している(R4、599件でピーク時であった平成15年の2割以下)
自治振興	<ul style="list-style-type: none"> ・町会長連絡協議会と協働による町会活動の周知 	<p>コロナ禍における町会活動への支援と町会加入世帯数の増加</p>	△	町会長連絡協議会と連携し、各町会へコロナ禍における活動及び町会加入促進などの支援を行ったが、町会加入世帯数は減少(R4、24,913世帯で前年度比-105件)

交通安全推進	<ul style="list-style-type: none"> ・スケアードストレイト教育技法による交通安全教室の実施 ・交通安全意識啓蒙活動キャンペーンの実施 ・高齢者の運転免許証自主返納奨励施策の実施 ・自転車用ヘルメット購入費補助金及び各種啓発を通じて、自転車ヘルメット着用の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・人身事故件数の減少 ・年度中の交通死亡事故ゼロ ・自転車関連交通事故死傷者数の減少 ・自転車ヘルメット着用者の増加 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室などを通じて啓発を図ったが、社会経済活動の活発化に伴い、人身事故件数は増加(R4、93件で前年比+31件) ・交通死亡事故0件(ゼロ更新日数1,397日)市最長記録(1,359日)更新 ・自転車関連死傷者数の減少(R4、37件で前年比+13件) ・運転免許証自主返納件数225件 	
災害対策	災害予防対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・蕨市地域防災計画の一部改定 ・ハザードマップ及びマイタイムラインの周知徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者利用施設の更新など、蕨市地域防災計画を一部改定 ・各種広報媒体の活用、出前講座などで市民の皆さんへ伝える。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・蕨市地域防災計画については、資料編の一部を修正。令和5年度に全面改定 ・洪水ハザードマップ及びマイタイムラインについて、行政広報番組や出前講座などで啓発
	自主防災組織育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の災害対策用資機材購入に対する交付金の交付 ・自主防災組織リーダーの育成 ・避難所運営訓練の実施 ・避難所運営協議会の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織による防災訓練の実施を支援 ・蕨防災士会とともに災害図上訓練等を実施し、自主防災組織リーダーを育成 ・学校体育館等を会場とした避難所運営訓練を実施 ・各校に避難所運営協議会を設置し、順次開催 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・蕨防災士会とともに、市民向けの講義や災害図上訓練を実施 ・東中学校、東小学校、第一中学校の3校で避難所運営訓練を実施 ・市立小・中学校全10校に避難所運営協議会を設置 ・災害対策用資機材購入に対する交付金事業を継続的に実施 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ数年実施されていなかった、自主防災組織による防災訓練についても、徐々に実施されてきている。
	関係団体との災害協定	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体と災害協定を締結 	<p>災害発生時等における各種応急復旧活動に関する人的・物的支援について、関係団体からの協力を得る。</p>	◎	<p>4つの協定を締結</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害時における被害調査の支援に関する協定」富士測地(株) ・「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定」(株)アクティオ ・「原子力災害時における焼津市民の県外広域避難に関する協定」静岡県焼津市 ・「災害時における物資供給等の協力に関する協定」(株)セキ薬品

危機管理	新型コロナウイルス感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への感染予防対策の周知 ・埼玉県が実施する感染症対策の支援 ・蕨市新型コロナウイルス感染症対策本部の運営 	<p>国・県と連携しつつ、各種取り組みを推進し、感染防止対策等を徹底していく。</p>	◎	<p>国や県と連携しながら、蕨市新型コロナウイルス感染症対策本部を開催し、市の対応方針を決定するとともに、その内容の啓発を図った</p>
環境対策	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次環境基本計画の策定 ・太陽光発電、太陽熱利用システム等、地球温暖化対策に寄与する設備または雨水貯留施設の設置に対し、補助金を交付。(地球温暖化対策設備等補助金交付事業) ・飼い主のいない猫に対し、不妊・去勢手術を受けさせた市民に対し、1頭当たり不妊手術6,000円・去勢手術4,000円の補助金を交付する。(飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金交付事業) ・たい肥化による生ごみの有効活用(花苗交換事業) 	<ul style="list-style-type: none"> ・低炭素社会、SDGsの推進など、これからの時代に対応した環境にやさしいまちづくりの推進に向け、計画をまとめる。 ・再生可能エネルギーを活用した地球温暖化対策に有効な設備の普及促進 ・飼い主のいない猫への手術に対する補助金交付事業を県、関係団体の協力を得て実施する。(予算措置40頭分 市の単独事業) ・たい肥と花苗交換事業参加者の増加 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次環境基本計画策定済み。 ・生ごみたい肥と花苗交換事業は、参加50世帯(前年比+2) ・ペットボトルキャップと花苗交換事業については、年3回実施(6月・10月・2月) ・地球温暖化対策設備等設置費補助金は、支給件数42件(前年比-1件) ・飼い主のいない猫への手術補助金は、5件(前年比-19件) 	

令和4年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 商工生活室	室長	松永 祐希
----	-------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいのあるまちづくり推進のため、蕨商工会議所、蕨市にぎわいまちづくり連合会、各商店街との連携、交流を深め、市民との協働に積極的に取り組む。 ・事務事業の円滑な推進のため、業務に関する情報の共有に努め、共通認識をもって仕事を進める。 ・業務全般について、目の前の対応だけでなく、先を見据えた対応を取るとともに、問題意識を持って取り組む。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
中心市街地活性化	中心市街地活性化プランの推進 ①エリアリノベーション事業 ②にぎわい創出事業 ③経営体質の強化事業	①(仮称)蕨市エリアリノベーション推進協議会を設置し、サブリース等の手法を取り入れて、空き店舗対策を推進するほか、新たな交流拠点の整備を図り、新たな回遊性とにぎわい創出の取り組みを進める。 ②「わがまちにぎわいプロジェクト事業」として、出張商店街やワンコイン商店街のほか、蕨市が舞台の女子サッカーアニメ「さよなら私のクラマー」とのコラボ企画など、各種ソフト事業を拡充。また、地域資源を活用した蕨ブランド認定品の育成・創出に努める。 ③既存店舗の経営体質強化を図るため、経営分析や事業計画の策定のほか、販路拡大等、計画的な経営への取り組みを支援し、既存店舗を繁盛店に生まれ変わらせ、当該エリアのブランド力・魅力を高める。	◎	①令和5年度、(仮称)蕨市エリアリノベーション推進協議会の設置に向け関係機関と調整中。空き店舗対策やにぎわい交流拠点の整備に向けては、市内空き店舗の調査をはじめ、他市先行事例の視察や商業開発を展開しているディベロッパーとの協議を進めた。 ②市内商店や名所を巡る「蕨周遊ツアー」や商店の方を講師に招いて行う体験型講座「知って得するワンポイントゼミナール」の開催ほか、「さよなら私のクラマー」のショップカード作成などコラボ企画を推進し、市外からアニメファンが訪れるきっかけづくりに努めた。 ③国の補助金を受けるための経営革新計画や、新型コロナウイルスの影響を受けている事業者が、国の事業再構築補助金を受けるための計画策定のほか、本市において新たに創業を希望する事業者への支援等を行うなど、約70事業所に対する支援を行った。

<p>商工業活性化支援</p>	<p>①第三期蕨ブランドの認定 ②住宅改修資金助成(リフォーム助成)制度の実施 ③創業支援 ④商店街活性化事業に対する支援 ⑤空き店舗有効活用事業に対する支援 ⑥(仮称)蕨市商店リニューアル助成制度を創設 ⑦女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」との連携</p>	<p>①第三期蕨ブランドの認定を推進し、地域産業の振興を図るとともに、認定品を市内外へ積極的にPRし、市のイメージアップにつなげる。 ②住宅改修資金助成(住宅リフォーム助成)制度を推進し、市内経済の活性化を図る。 ③蕨商工会議所と連携し、創業講座や個別相談を開催するなど、市内での創業を目指す方々を支援する。 ④商店街が行う各種活性化事業を支援する。 ⑤空き店舗有効活用事業補助金制度の見直しを図り、蕨ブランド協会を中心とした空き店舗に努める。 ⑥(仮称)蕨市商店リニューアル助成制度を創設し、既存店舗の魅力強化を図れるよう支援する。 ⑦女子サッカーを応援するまち蕨として、女子サッカーの魅力を発信する取り組みや、まちのにぎわいづくりを推進する。</p>	<p>◎ ①第三期蕨ブランド認定審査会により、今回新たに6事業者6品が認定品に加わった。3月23日から26日まで、大宮駅前のイベント会場「まるまるひがしにほん」において、お披露目を兼ねた販売会を実施。 ②住宅改修資金助成制度に37件の申請、2,467,000円の補助金を支給。総工事費は約6,230万円となり事業効果は25.24倍。 ③蕨商工会議所による創業支援20件、うち創業済み12件。 ④商店街の街路灯や防犯灯の修繕を実施。 ⑤令和4年度の空き店舗有効活用事業補助金制度の活用は4店舗。今後の制度活用の在り方については、関係機関と設置に向け調整中の(仮称)蕨市エリアリノベーション推進協議会で協議していく予定。 ⑥蕨市魅力ある店舗づくり支援事業補助金制度として令和5年度からスタート。 ⑦WEリーグのプロ選手と児童との交流会や「WEリーグ応援ツアー」を実施。</p>
<p>中小企業支援</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者への支援</p>	<p>国、県が実施する経済対策に関し、市内事業者へ速やかに情報提供を行うほか、状況に応じて市独自の支援策を実施する。</p>	<p>◎ ・国、県が実施する経済対策支援事業の情報提供を市HPを通じて行った。 ・8月～10月：蕨市運送事業者燃料費高騰対策支援金事業の実施。運送事業者の法人10万円、個人5万円。申請34件(法人14件、個人事業主20件)、交付金額240万円(法人140万円、個人事業主100万円) ・11月：蕨市地域活性化・消費者応援事業として、PayPay(株)と連携したポイント還元キャンペーンを実施。決済総額は約3億4,100万円と、第2弾との比較で約1.59倍、第1弾との比較で1.71倍となった。 ・12月～2月：蕨市暮らし応援券「織りなすクーポン」支給事業については、利用総額3億4,799万3,000円で全体の約95.2パーセントの利用率となり、参加した市内485店舗のうち、約91.1パーセントにあたる442店舗での利用があった。また、商品券の額面を大きく上回る買い物をされたことが分かっており、地域経済の活性化が図れた。</p>

観光振興	機まつり等、観光イベントの開催 (新型コロナウイルスの影響等を考慮する)	蕨の魅力を発信する苗木市・藤まつり(4月)、あさがお・ほおずき市(7月)、機まつり(8月)、宿場まつり(11月)について、新型コロナの影響等を考慮し開催の判断を行うとともに、実施の際には安全面等に配慮をする。	○	藤まつりは一般公開のみ実施。機まつりと宿場まつりは時間短縮等、一部縮小して開催。
農業振興	①わらびりんご推進事業 ②安全安心な蕨産野菜の提供や、自然と触れ合う場の確保	①群馬県片品村の農家と連携し、地域資源である「わらびりんご」の生産拡充を図るほか、生産管理団体と協力し、新たな商品開発にも取り組むなど、「わらびりんご」によるシティプロモーションを推進する。 ②園芸祭と園芸品評会の開催のほか、学校給食センターと連携し、児童生徒へ蕨産野菜のメニューを提供する。また、ファミリー菜園を整備し、多くの市民に土に親しんでもらう。	○	①片品村のりんご農家の協力により、3月下旬に苗木50本を植樹。第一弾として収穫量300キロ増を目指す。また、新たな商品開発の取り組みとして、発泡酒「わらびりんごサワーエール」を製造。宿場まつりや酒屋等で販売したところ、好評であった。 ②蕨産野菜の提供と、市民が土に親しめるファミリー菜園事業を実施することができた。
勤労者支援	勤労者や事業者に対し、より良い職場環境づくりに役立つ知識の提供	働き方改革関連法が施行され、労働をめぐる様々な問題が注目されていることから、労働関係の身近な問題をテーマにして、より良い職場環境づくりに役立つ知識を提供するセミナーを開催する。	○	新型コロナ禍においては、ネット配信による労働セミナーを埼玉県の主催により実施。市では情報提供を行った。

令和4年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 市民課	課長	岡田 陽一
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・住民基本台帳事務、戸籍事務、国民年金事務、個人番号カード交付事務について職員研修を実施し、解決すべき事案を速やかに検討し、情報共有を行い適切な窓口サービスが提供できるよう努める。 ・個人情報を守る責務があることを職員一人ひとりが認識し、住民票の写し等の証明発行業務、外部内部を問わず問い合わせ等には十分注意を払い、個人情報の保護を徹底する。 ・窓口で、笑顔での挨拶や身だしなみ、言葉づかいや態度などに気をつける。また、相手の話をよく聞き、相手の立場に立って分かりやすい説明をすることにより手続をスムーズに行い、来庁した方に満足していただけるよう努める。 ・多言語対応の申請書や「やさしい日本語」等を使用して外国人住民にもわかりやすい説明ができるよう職員のスキル向上を図る。 ・申請受付から手続完了までにかかる時間を短縮するため、職員一丸となって効率的に業務を行い、窓口の混雑緩和を図る。特に個人番号カードの交付枚数が増加しているため、交付窓口体制の充実を図る。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
個人番号カードの交付	希望者へ個人番号カードのオンライン申請補助や交付を行う。	個人番号カードの取得促進啓発と、窓口での円滑な交付に努める。	◎	月2回の休日交付、カードのオンライン申請補助を継続的に実施した。マイナポイント第2弾の影響で申請数・交付数が飛躍的に伸びたが、会計年度任用職員の増員を行うなどして対応している。
住民基本台帳事務における支援措置	ドメスティック・バイオレンス及びストーカー行為等の被害者保護のため、関係各課と連携を図り、支援措置対象者等の住所の漏洩を防ぐ。	支援措置対象者等の個人情報の保護を徹底する。	◎	ドメスティック・バイオレンス及びストーカー行為等に個人情報等が利用されないよう関係各課と密接に連携を行った。住民票の写しや戸籍の附票の写し等の取扱い、住所の問い合わせには応じない等、住所が漏れることのないよう職員に徹底し、支援措置対象者等の個人情報の保護に努めた。

POSレジ導入	各種証明書の手数料支払いについてキャッシュレス化を図る。	10月稼働に向けて準備する。	○	予定通りにスタートできた。 手数料の支払いについて請求日が市の会計規則に合わないという問題が生じており、現在、事業者に変更を求めている。
異動受付支援システムの構築	令和5年秋開所の新庁舎に導入するスマート窓口のシステム構築を行う。	年度内に仮稼働を行い、令和5年度当初から職員研修が実施できるようにする。	○	1月より仮稼働が可能となり、試運用を進めている。

令和4年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 市民活動推進室	室長	倉石 尚登
----	---------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の総合窓口として来庁者に対し、常に相手の立場になり、親切で丁寧な対応を行う。 ・常に業務改善を意識し、できる改善はすぐに実行する。 ・業務上の課題に対しては、室内全員で議論して解決する。 ・常に自己研さんに努め、質の高い業務を実行する。 ・市民活動を活発化し協働のまちづくりを進めるため、わらびネットワークステーションの充実を図る。 ・男女共同参画の推進体制の充実と意識改革を図る。 ・外国人住民との相互理解を図り、ともに豊かに生きることのできる多文化共生のまちづくりを進める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
市民相談事業	市民生活における多種多様な問題に寄り添い、その解決を導き出すことで暮らしの安定及び利益向上を擁護し、安心・安全な市民生活の増進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種相談の周知及び活用を推進する。また、外国人の相談についても適切に対応する。 ・身近な事柄を気軽に相談できる環境づくりに努める。 	○	コロナウイルス感染症の拡大防止により、電話での相談を実施するなど各種相談を実施した。また、配偶者暴力相談支援センターでは、内閣府のDV相談プラス及びSOSカードのさらなる周知を図るなどし、新型コロナで潜在化が懸念されているDV被害者の相談体制の強化を図った。
協働提案事業	市民活動団体等が、市と協働で地域や社会の課題解決を目指す事業に対して補助金を交付し、市民の主体的な活動により、安全安心で快適なまちを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の周知・啓発を進め、市民や団体が社会や地域の課題に積極的に関われる環境づくりを進める。 ・協働提案事業終了後も、団体独自で事業が継続できるよう、支援に努める。 	○	指定テーマを「SDGsを活かした地域活性化事業」とし、市民活動団体ならではのアイデアが提案され、自由テーマ2事業を含め、5事業が採択となった。
男女共同参画事業	男女共同参画を推進するため、各種事業を通して意識の高揚及び環境づくりを推進する。また、DVに関する相談や被害者の自立・支援に必要な情報提供や援助等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画地域推進事業及び同セミナーを社会情勢等に見合ったテーマ等を的確に捉えて開催し、男女共同参画に対する意識の高揚を図る。 ・啓発紙「パートナー」の発行及び啓発パネル展を実施する。 ・第3次蕨市DV防止基本計画に基づき、きめ細やかな支援を継続する。 	○	男女共同参画推進事業は、新型コロナの影響で一部縮小するものの、予定通り実施し、啓発紙パートナーの発行、男女共同参画啓発パネル展については例年通り開催できた。また、講演会については、コミュニティー委員会と連携し、ジェンダー平等やLGBTQに関わる意識の高揚を図った。なお、男女共同作品募集事業では、多くの作品を募ることができ、男女平等への理解と関心をさらに広めることにつなげた。

<p>人権啓発事業</p>	<p>お互いを尊重する心を育み、人権意識の高揚を図りながら市民の人権擁護を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権の花運動を実施する。 ・人権擁護委員よる人権教室の開催及び啓発活動を推進する。 ・パートナーシップ制度導入に向けた調査・研究及び啓発活動を進める。 	<p>◎</p> <p>人権の花運動及び人権教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、人数制限等、感染対策を施し実施できた。また、パートナーシップ制度の啓発については、LGBT基礎知識ガイドを配架するほか、セクシャルマイノリティに係るパネル展を実施し、啓発を進めた。</p>
<p>多文化共生事業</p>	<p>国籍や民族などの異なる人々が、多様な価値観を認め合いながら、ともに学び・働き・安心して暮らせる地域づくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生指針に掲げた主な取り組みを着実に実施する。 ・市民との協働で、日本人住民と外国人住民との交流事業を開催する。 	<p>◎</p> <p>多文化共生推進市民懇談会及び行政連絡会を設置し、指針の取り組みの検証等を実施するほか、4か国語に翻訳した指針の概要版を作成し、ホームページ公表と公共施設、外国人経営の事業所に配架した。また、住民交流事業「みんなの広場」を3年ぶりに開催し、互いの文化を通じて日本人住民との交流を育んだ。</p>

令和4年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 医療保険課	課長	大山 麻美子
----	-------------	----	--------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険制度・後期高齢者医療制度の安定的運営への取り組み 制度の健全な運営に向け、制度の内容や保険税(料)などに関する市民の理解促進に努めるとともに市民満足度の高い窓口対応を心掛ける。 ・保健事業への取り組み 生活習慣病の早期発見・早期対応・重症化予防を図るため特定健診の受診率向上を図る。 ・医療費適正化への取り組み 糖尿病症性腎症重症化予防対策事業において新たに保健指導を実施する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
健康診査事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康増進と医療費の抑制を図るため、生活習慣病の一つである内臓脂肪症候群の該当者及び予備軍の減少に着目した健診を実施する。 ・対象者 ①40歳以上の国保被保険者 ②後期高齢者医療被保険者 ※人間ドック受診者は除く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率の向上 (前年度よりも上昇) ・受診意欲を高めるため、啓発活動の実施 	○	<p>コロナの影響で受診率は低下したものの、県内平均は上回った。</p> <p>①国保 受診率(令和3年度) 38.7%(対前年度比 1.3ポイント減) 県内平均(38.2%)</p> <p>②後期 受診率(令和3年度) 41.4%(対前年度比 3.0ポイント減) 県内平均(32.6%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診早期受診キャンペーンの実施 ・受診勧奨通知の送付 ・SMS勧奨の実施(令和2年度新規) ・健診期間の延長(3か月) ・ポスター掲示(公民館、市内健診機関など)

<p>医療費適正化</p>	<p>【ジェネリック医薬品利用促進】国保ジェネリック医薬品に切り替えた場合に、自己負担額が一定額以上削減する方に、差額通知を送付する。</p> <p>【糖尿病性腎症重症化予防対策】国保・後期令和4年度より新たに、糖尿病性腎症等の通院患者のうち重症化するリスクの高い方に対する保健指導を、国保と後期において一体的に実施する。</p>	<p>・ジェネリック医薬品の数量シェアの向上 (前年度よりも上昇)</p> <p>・重症化予防対策における保健指導においては、各々選定対象者の10%程度を実施目標人数とする。</p>	<p>○</p> <p>【ジェネリック医薬品利用促進】 数量シェア 82.0% (令和 5年2月審査分) (対前年比 1.9%増)</p> <p>・数量シェアは、前年増を達成。ジェネリック医薬品希望シールを被保険者証更新時に同封するなどの取組みを通じ、国の数値目標である80%を上回ることができた。</p> <p>【糖尿病性腎症重症化予防対策】 ・参加者数及び選定対象者に対する参加率 【国保】 13人(39.4%) 【後期】 10人(50.0%)</p>
<p>コロナの影響を受けた被保険者への支援 (国保・後期高齢者)</p>	<p>・コロナの影響により収入が減少した世帯等に対し、保険税減免を実施し、支援を行う。</p> <p>・コロナに感染した等で、仕事を欠勤することを余儀なくされ、給与等の全部または一部の支払いを受けることができなくなった場合、傷病手当金を支給</p>	<p>コロナの影響による保険税減免や傷病手当金について、ホームページや広報等を通じて被保険者に対し周知し、適切な事業実施に努めて行く。</p>	<p>◎</p> <p>・コロナの影響による保険税減免については、当初納税通知書にリーフレットを同封するなど周知に努め、適切に事務を執行 (R5.3月末実績 国保:申請90件 後期:申請4件)</p> <p>・傷病手当金については、広報等を通じ広く周知し適切な支給に努めた。 (R5.3月末実績 国保:支給80件 後期:支給3件)</p>

令和4年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 中央コミュニティ・センター	所長	鈴木 啓文
----	---------------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・中央地区の各町会や各種地域団体、関係機関と連携を図り、コミュニティ活動を進める。 ・親切で公正・正確な窓口対応を目指す。 ・安全できれいな施設管理を目指す。 ・コロナ禍での施設や事業の運営をはじめ、団体との接点などの在り方・方向性について検討を重ねる。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
コミュニティ委員会活動	コミュニティかわら版の発行、青少年健全育成をはじめ、各種の関連事業、民生委員との協働による地域の子どもの見守り活動などを行い、コミュニティ活動を推進する。	各種事業を通じて各地域団体の連携を図るとともに、住みよい地域づくりを進める。	○	コロナ禍で、予定の各種事業やコミュニティ情報紙「コミュニティかわら版」発行などは、ほぼ中止・見送り・縮小となった。感染が小康状態となった年度末に、市民活動推進室と共催で男女共同参画講演会を開催した。収束後の方向性について、中央コミュニティ委員会とともに検討を行っている。 ※「達成状況」ではコロナ禍で主要な事業の実施が見送り・縮小となった点を除いて作成。
青少年の健全育成	「親子ふれあい会」などを通して親子や地域住民同士の交流を図る事業を行う。	「親子ふれあい会」などの親子や地域の交流を図る事業を実施するとともに、子ども実行委員の育成及び活動の場の充実に努める。	○	コロナ禍により、予定の各種事業は中止となった。収束後の方向性について、中央コミュニティ委員会とともに検討を行っている。

令和4年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 勤労青少年ホーム	所長	鈴木 啓文
----	----------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・さわやかで正確な対応、安全、きれいな施設管理を行う。 ・職員間の情報を整理・共有化する。 ・コロナ禍での施設や事業の運営をはじめ、団体との接点などの在り方・方向性について検討を重ねる。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
勤労者福祉の充実	勤労青少年を対象とした余暇活動、趣味活動、仲間づくりの支援として、施設の貸し出しを行う。	多くの勤労青少年が利用できるように、情報の発信など工夫をしながら運営をする。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・登録者への施設の貸出を中心に行っている。公民館報やホームページなどを通じて定期的に施設のPRを行っている。 ・登録者数は平成28年度以前は100人前後を維持していたが、29年度の耐震工事や令和元年度のエレベーター設置工事による休館、2年度以降のコロナ禍の影響により、大幅に減少している。 ※「達成状況」ではコロナ禍を除いて作成。

令和4年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 塚越コミュニティ・センター	所長	岡本 啓太郎
----	---------------------	----	--------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いの励行、手指の消毒、マスクの着用、定期的な換気等の新型コロナウイルス感染防止対策にしっかりと取り組む。 ・各種住民サービスの質的向上を図りながら、創意、笑顔、協働、効率的な業務を遂行し、地域住民の親近感と信頼関係を育むコミュニティ・センターとする。 ・コミュニティ事業をとおして、地域住民の交流と連携の強化を進める。 ・塚越コミュニティ委員会の3つの重点目標（「安全で安心して住める地域づくり」、「地域で子どもを見守り育む」、「男女共同参画まちづくり」）を地域住民と協働で推進し、市民生活の場における人間相互の連携と融和の意識高揚を図り、地域の愛着を高める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
蕨市民公園桜まつり	地域住民が企画・運営し、各団体等の催しをとおして、市民交流と郷土愛を育む。	新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、新しい形式での開催も検討する。だれもが楽しめるイベントとして開催し、まつりをとおした交流の中から郷土愛を育むとともに、住民の地域デビューの契機を促す。	○	新型コロナウイルス感染拡大防止により実施することができなかったが、市民公園桜まつり代替事業として、『桜いっぱい作品展』やステージ発表のイベント『スプリングカーニバル』を新たに開催した。
平和事業	平和に関する様々な催しをコミュニティ委員会が中心となって実施し、平和の大切さを地域ぐるみで考える。	地域住民及び団体が事業主体の一員として参加してもらい、平和に対する多彩なメニューを展開し、幅広い世代の方たちに平和の尊さや大切さを学び、平和を愛する心を育む。	◎	新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、夏季に『平和之母子像清』・『平和の紙芝居&ミニコンサート』・『平和を願うパネル展』を実施することができた。
男女共同参画講演会	男女が個性と能力を十分に発揮できる社会を地域住民で学び、推進する。	男女の人権が尊重され、社会経済情勢の変化に対応できる豊かで活力ある地域社会の実現を図る。	◎	新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、蕨市と共催で『講演会（パートナーシップ制度について）』を開催した。

令和4年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 南町コミュニティ・センター	所長	萬年 祐次
----	---------------------	----	-------

課の運営方針
<p>・南町コミュニティ委員会による防災防犯活動や青少年活動支援、地域連携事業などを通じて地域住民を協力し合い、地域に根ざした親しまれるコミュニティセンターを運営していく。</p> <p>・きれいで安全な使いやすい施設管理、環境整備に努める。</p> <p>・地域住民が気軽に楽しく利用できる環境づくり、親切・丁寧・正確な窓口及び電話対応を行う。また、業務遂行にあたり、問題意識を高く持ち、地域のニーズに応えるべく先を見据えた対応に努める。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
コミュニティ委員会活動	コミュニティだよりの発行、地域防犯パトロールの実施、新入学を祝う集いの開催、子ども会育成会・体協南町支部の活動支援などを行い、南町地区のコミュニティ活動を推進する	各種事業を展開することで、子どもから高齢者までの幅広い世代の地域住民が地域に愛着を持ち、協力し合う、安全で安心な住みよい地域づくりを進める。	○	今年度はコミュニティ委員会主催の囲碁将棋大会を実施できた。体協南支部主催事業の支部体育祭は今年度も中止となったが、球技大会は実施できた。子ども会育成会主催事業は、かるた大会を実施し、みなみまつりも延期かつ花火のみで実施できた。また、コミュニティだよりの発行や冬季の地域防犯パトロールなどコミュニティ委員会主催事業はある程度実施することができた。
防災関連事業	地域防災の推進を図るため、南っ子防災キャンプや地区防災訓練などの防災事業を実施する。	風水害や地震災害などケースごとへの対応について、より実践的な事業を展開することで、コミュニティ委員会を中心に安全安心への取組みがより効果的になるよう努める。	△	新型コロナウイルス感染予防のため、南っ子防災キャンプと地域防災訓練は中止となったが、2月に実施された一中の避難所運営訓練に職員が参加できた。

令和4年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 錦町コミュニティ・センター	所長	荒川 恵子
----	---------------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・親切、丁寧で迅速な対応を心がけ、地域に親しまれるコミュニティ・センターの運営を行う。 ・安全できれいな施設の管理・運営を図る。 ・錦町コミュニティ委員会の活動を通じて地域住民と協力し、住み良い地域社会を目指す。 ・新型コロナウイルス感染防止対策に十分留意した事業運営を行う。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
コミュニティ委員会活動	コミュニティ委員会活動を通じて錦町地区の関係団体、関係機関との連携を図る。	地域団体や関係機関との連携を深め、コミュニティ委員会の活性化を図る。	△	例年開催しているコミュニティ委員会と地域団体と連携した事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため行うことはできなかったが、関係機関より支援・協力ををいただくなど連携を図ることはできた。
コミュニティ事業の推進	わらびりんごの普及・啓発及び花と緑の推進員、見守り隊など各種事業を通してコミュニティの活性化を図る。	コミュニティ委員会と地域住民、各団体と連携して住民主体の事業を行い、地域力の発揮と拡大を図る。	△	新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止とした事業が多かったが、花と緑の推進員、見守り隊は年間通して活動した他、後期からは百歳体操を再開し、七つの祝い式も例年とは形式を変えて行うことができた。
青少年健全育成事業	ジュニアリーダー会の育成、小学校3年生一泊キャンプなど、錦町地区青少年健全育成推進委員会と協働して、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。	ジュニアリーダー会の活動を支援し、青少年の健全育成を図るとともに、社会活動の場の提供を促進する。	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小学校3年生一泊キャンプが3年連続中止となったため、代替事業として小学3～5年生対象のデイキャンプを行った。また、バスハイクも実施しジュニアリーダー会の活動を支援した。

令和4年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 北町コミュニティ・センター	所長	桑島 勝彦
----	---------------------	----	-------

課の運営方針
<p>・地域に親しまれるよう、親切・丁寧な住民サービスに努め、気軽に利用してもらえるよう、明るくきれいなコミュニティ・センターとしての環境整備を図る。</p> <p>・「コンパクトシティ」将来ビジョンに掲げるとおり、コミュニティ活動への支援をはじめ、各町会や婦人会・子ども会など、地域力を活かしたまちづくりを進める。</p> <p>・公民館・体育館・児童館の複合施設である当センターの特性を最大限活用し、施設全体でバランスの取れた事業を実践する。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
春が来たコンサート	コミュニティ委員会をはじめ、北町地域の皆さんが企画するコンサートを通して、新小学1年生児童をお祝いする。	北町地域で新小学1年生になる子どもたちを地域でお祝いする。コンサートを通じ、地域の人々の世代を越えた交流が生まれ、地域の活性化につながっていくことを期する。	○	コミュニティ委員会をはじめ、地域住民で組織する実行委員会が北町地域の新小学1年生を祝う事業。コロナウイルス感染拡大防止のため、3年間中止としていたが、令和4年度は4年ぶりに、3月26日(日)に開催。参加者は新小学一年生と保護者等を合わせ550人(うち新小学1年生は30人)。出演団体は北町公民館利用団体等2団体。
花いっぱい活動	北町コミュニティ広場の一角にある花壇に、年間を通して様々な花を植える。	地域の憩いの場を確保するとともに、防犯等の二次的効果を生み、住みよい地域づくりを推進する。	◎	月1回定期的に花壇の整備を行っているほか、北コミプラザの補修等も積極的に行うなど、地域の環境美化に努めた。
北町コミュニティ祭り	公民館・体育館・児童館の利用団体や子ども会、地域女性団体等が一体となって、日頃の学習成果発表会や模擬店出店、子ども向けイベント等を行う。	お祭りを通じて地域の活性化を図ることはもちろんのこと、北町地域の様々な方・団体が一堂に会し、イベントの企画・運営をすることで連携を深め、地域コミュニティの強化や生涯学習の推進を図る。	○	コミュニティ委員会を中心に実行委員会を組織し、地域の活性化や生涯学習の推進を図った。コロナウイルス感染拡大防止のため、2年間中止としていたが、令和4年度は、11月12日(土)・12日(日)に運動系団体や文化系活動団体の発表、模擬店、子ども向けイベントを開催し、参加者は2,414人であった。